

自給自足通信 2010 vol.1

みなさんこんにちは。お久しぶりの方も、はじめましての方もいらっしゃるでしょう。自給自足通信です。去年から始まった、自給自足のすすめ。農業体験の記録を残し、またみなさんに紹介することで新しい繋がりができればいいなあ…と思って始めたものがこの自給自足通信です。今年はまだ3月。まだ雪が降る日もありますが、元気に自給自足のすすめがはじまりました。



3月4日(木)今年初めての作業は種まきからスタートです。当たり前ですが、種を蒔かなければ始まりません。今回参加してくださったのは何と5名の方が参加してくれました。幸先がいいです。去年を思い返しても仕方ないのですが、最初は参加者が1名だったり2名だけだったり…寂しい回もありましたが、今年は違うようです。早速ですが、作業は外ではまだ寒いのでサポステ内で作業をすることになりました。(本当は外の駐車場で行う予定でした。)トラックから土を運び、ポットに土を入れていきます。それを発泡スチロールの箱の中

に並べます。人数が多いので、みんなで順番に。言い忘れてましたが、今回蒔いた種はキャベツ。種類は「みかく甘藍」という種類です。種はとても小さく、参加者のある方が「百草丸みたい。」と呟いていました。長野県発(?)のあのお腹が痛い時に飲む薬ですね。また、シャベル(スコップ)の正式名称しってる?やシャベルにも方言があるんだよ〜なんてみんなで楽しく喋りながら作業は続きます。ポットに指で穴をあけ、一粒〜二粒くらいいれます。そしてその上から土をかけ完成です。今回の作業はこれだけでした。5名もいたし、僅か30分で作業が終了してしまいました。半分の種をポットに蒔いたのですが、残りの半分の種は直接畑に蒔いて収穫の時期をずらすそうです。今回作業を終えてみなさんは「こんなに小さな種から成長するのか、考えられない。」とか「やはり成長、収穫が楽しみ。」など感想が聞かれ、2010年度も自給自足のすすめいよいよ始まりました。



3月20日(土)天気は快晴。この日は3月ですがすっかり春を超えて初夏の暑さでした。今年初めての畑での作業ですが、参加者は全部で7名でした。常連さん、初めての方もいらっしゃいましたが、自己紹介をして早速皆で作業開始です。今日の予定は種まきです。しかし最初に草むしりです。皆で鎌を持ちそれぞれ草むしりをしました。暑い中での作業だったので少し汗をかいてしまうくらいでした。



しかし、大人数いるので草むしり、そして土を耕す作業は容易いものでした。次に皆で種を分け合い、いよいよ種まきの開始です。まずは人参の種からです。畝を作って蒔き始めたのですが種の数が多く、等間隔に蒔いたのですが、さらに間隔を狭めて蒔いていきました。続いてほうれん草の種を蒔きました。

ちなみに、ほうれん草は漢字で法蓮草などと表記されるようです。土の上に線を引き、種を蒔く穴を掘り、種を蒔いていきました。こちらの種も数多く、結局全ては蒔き

終わる事はできませんでした。しかしこの作業も皆でお喋りしながら行ったのであっという間でした。さらに蒔いた種の土の上にわらをかぶせていき、水をあげました。作業を終えると田口農場の隣の畑のお母さんが野沢菜とネギを分けて下さいました。それを皆で分け合って作業は終了です。暑い中での作業でしたが、皆でやると時間もあっという間でした。参加した皆さんも「種を沢山蒔いたが、芽が出た時はどうなっているか気になります。」と成長を心配する声もありましたが、今年も畑作業の開始です。楽しみです。



自給自足通信 2010 vol.2

こんにちは。先月から再開された自給自足のすすめ、そしてこの自給自足通信ですがすっかり春の陽気です。ぽかぽか暖かいというより少し暑いくらいの気温でしたが、第2回目の自給自足もスタートです。



4月3日(土) 天気は快晴。外での作業はとても気持ちのいい暖かさです。

参加して下さったのは4名。早速みんなで作業にとりかかります。最初に前回蒔いた人参、ほうれん草をチェックしました。芽はでてるかなあ?と楽しみに見たのですが、残念ながら雑草がたくましく生えていてよくわからない…しかし、よくみると小さな芽が出ていました。本当にわずかで注意しなければ踏んでしまいそうなくらいでしたが嬉しいことに芽は出ていました。かぶせてある寒冷紗(薄い綿布)をはがして食べられない雑草は除去してしまいます。次に、大根を蒔くために畝を新しく作りました。みんなで土を耕し、雑草を取り除き、くわで土を寄せて畝を作りました。そこにビニールシートをかけ、ビニールシートに一定の間隔で穴をあけ、その穴からさらに土を数センチ掘り、そこに大根の小さな小さな種を蒔きました。成長した大根からは想像できないくらい小さな種ですが、2粒ずつくらい蒔いていきました。すると種が余ったのもう一つ畝を作りビニールシートの一連の作業を繰り返し、また種を蒔いて行きました。そこに土が乾燥しないようにわらをかぶせ、寒冷紗をかけて完成です。1人では時間がかかって大変だと思いますが、みんなで作業したのであつというまに作業は終了しました。

残った時間で田口さんが新たに借りたという畑を見学しました。今作業を行っている場所とは別に広い農場でジャガイモを作るそうです。最後に去年蒔いて冬を越したネギ、小松菜を収穫して作業は終了。ネギ、小松菜はみんなで分けて解散です。今回蒔いた種は気温が寒かったり、暑かったり安定しないので上手く育つか心配ですが、またみんなで作業を続けて収穫の時期を楽しみにしたいと思います。



自給自足通信 2010 vol.3

こんにちは。自給自足通信です。

5月15日土曜。天気は快晴。参加者は14名です。サポステ利用者3名、スタッフさん4名、今回は労協ながのの関係者の方が6名、ハローワークの就活サポーターの方1名が参加されました。

最初に新しく借りたというジャガイモ畑から作業スタートです。以前種イモを植え付けたのですが、大分芽が出て葉が出てきたので土寄せです。ジャガイモは上に向かって育つそうで、土を上からかけてあげないとじゃがいもが土から顔を出し、台無しになってしまうそうです。なので、くわで土を横から掘りながらかけてあげる作業をしました。農業経験者の方もいて、初めての方もいます。経験者の方が優しく丁寧に初めての農業体験をする方に教えながら進めていきます。日差しが強くなっていく中(女性は日焼け対策が必須ですね)段々体も温まり、汗も出てきます。



しかし、広大な畑をみんなで話しながら、休みながら続けていきました。土寄せが終わると、雑草の除去作業です。草かきで土をかきながら雑草を除去していきます。この作業もただ土の表面をかくだけでなく、無駄な力が入らないように上手にかいていきます。この作業が終わると、いつもの田口農場に戻り、ゴボウの種まきの準備です。畝を作り、そこに種を蒔くため穴をほりその穴に沿って種を蒔いていきます。ゴボウの種はひまわりの種を一回り小さくした感じ



のものでそれを蒔いていきました。5cm間隔で蒔き、上から土をかぶせていきます。更に上作業としてはジャガイモの土寄せ、ゴボウの種まきの2つだけでしたが、広い畑、暑い中で作業は大変でしたが、今回は人数も多く、経験者の方や、いつも参加されている常連さんは農作業に慣れているのでサクサク進みました。初めての方も一所懸命に作業をされたのであつという間に時間が過ぎてしまいました。今回は今年初めて蒔いたゴボウの成長も楽しみです、去年も作ったジャガイモの収穫兼バーベキュー大会も楽しみです。



自給自足通信 2010 vol.4

5月29日。天気は曇り。今回も自給自足のすすめの始まりです。今回の参加者は9名。労協ながのの各関係者の方が来ましたが、サポステ利用者の参加者は残念ながら1名だけでした。今回行った作業はじゃがいもの土寄せ。前回と同じ作業です。

最初にじゃがいもの苗を間引きしていきます。間引きとはいくつか生えている苗の中から数本選び、他の物は引き抜いて、残った苗に栄養が届くようにして成長させるという方法です。じゃがいもも5本ぐらいつつ15cm間隔に生えているのですが5本は多いのでそれぞれ引き抜いて2~3本にしていきます。

次に土寄せです。今回は天気も徐々に暑くなってきて広い農場での作業は汗も出てきます。くわで苗に向かって土をかぶせていきます。今回は参加者も少ないので時間もかかりました。大変ですが、農作業は体も動かして運動不足の体にはちょうどいい運動になり、日光もあびてとても気持ちいいです。

土寄せが終わると、じゃがいも畑からいつもの田口農場に移り、ほうれん草の収穫をしました。数か月であつという間に育ったほうれん草は少し成長しすぎて花が咲いてしまう物もありました。手頃なほうれん草を収穫して、それをみんなで分け合って終了です。その他にも大根や玉ねぎを試しに収穫したのでそれも分け合いました。



実は今回、NHKの取材が来ました。「農業で働く喜びを体験」という事らしいのですが、ラジオ、テレビ、ネットでも配信され益々この自給自足のすすめが多くの人に認知され広がれば良いなと思います。今回は少し緊張の中作業しましたが、みんなで話し合いながらの作業でコミュニケーションも取れるのでとても楽しく作業が出来ました。

6月12日。天気は快晴。Tシャツが肌にへばりつくような暑さでした。その様な中、参加して下さったのは6名。スタッフさんを合わせると11名という大人数でした。今回の作業ですが、最初はサツマイモの苗を植えました。土寄せをして畝を作っていきます。その間、女子チームは花の種を蒔いていました。種類はひまわり、あさがお、そして帝王貝細工というキク科の花です。もちろん畑ですか



ら野菜を作るのですが、食べるものだけでなく、いろいろな花が咲く綺麗な畑になればいいですね。そしてサツマイモですが、完成した畝に握り拳で軽く土の上から押さえつけて穴をあけ、それを等間隔に続けていきます。穴に十分なくらいの水を入れ、そこに苗を横に倒すように添えて上から土をかけていきます。



人数がたくさんいるのであつという間、楽しい作業でした。手が空いている人は以前蒔いたゴボウ、ニンジンに生えた雑草を取って行きました。地道な業ですが、大事な作業です。次に大豆を蒔いて行きました。準備した豆の量がかなり多かったの、畝を作って等間隔に2粒ずつ蒔きながら…を繰り返していたら、結局畝が4本も必要になりました。更にわらを上にかぶせて終了です。

最後に大根を収穫しました。土から頭を出している大きな大根を収穫していきます。20本くらい収穫したのですが、大きさも様々ですが大きな大根が収穫できました。今回は色々作業を暑い中で行ったのでみなさん疲れたと思いますが、これから夏に向けて更に暑くなると思いますが、気持ち気温に負けないように熱く頑張りたいと思います。

自給自足通信 2010 vol.5

こんにちは。自給自足通信です。6月26日(土曜日)に行われた自給自足のすすめは、あいにくの雨。しかし、小雨だったので作業は行われました。雨の中の作業は涼しくて、逆に真夏の炎天下の中での作業より良かったかもしれません。参加者は5名(本人4名+ご家族1名)+スタッフ3名の計8名で行われました。

最初の作業は玉ねぎの収穫。種類は赤玉ねぎで、普段目にする玉ねぎとは少し違います。赤紫色で、辛みや臭みが少なく水分が多いのが特徴で、サラダに適しているそうです。その玉ねぎを全て引き抜いて行きました。土が柔らかいので簡単に引き抜く事ができ、あつという間の作業で



した。別のチームは大根の収穫。大根は少し収穫の時期が遅かったため、食べられる時期を少し過ぎてしまったみたいです。結構な量を収穫できたのですが、もう少し早く収穫していれば良かった状態でした。勿体ないけれど、これも農業の難しさだなあと感じました。

最後に行ったのは、草取りです。ネギの畝の間の草は、雨を浴び、野菜以上に成長していました。放っておけばさらに伸び続ける強敵です。その雑草たちを素手、鎌、くわ、各種道具を使って引き抜いてしまいます。この作業が一番地味で時間もかかりますが、重要な作業です。一人でやっているとなんか嫌になりますが、多人数で行えば時間はその分だけ短縮できます。農業は人数だと改めて思います。

皆で地道に草を取って、最後に収穫した赤玉ねぎ、ギリギリ食べられる大根をみんなで分け合い作業終了です。

7月10日(土)。参加者は5名でした。天気は晴れ。それにしても、蒸し暑いです。

そんな条件の中で行った作業は・・・草取りです。じゃがいも畑の草取りですが、しばらくの間手入れしていなかったの、草は伸び放題です。伸びきった雑草はうんざりするほどですが、誰かがやらなければなりません。前日雨が降ったので土は柔らかくなっていましたが、根っこはしぶとく、簡単に手では引き抜くことはできません。各々、鎌、草かきを持って雑草に挑みます。炎天下の中、延々とひたすら雑草を取っていきます。かなりいい運動になりました。汗もかきますが、気持ちのいい汗です。1人1列くらい担当して作業を行ったのですが、時間はあつという間に過ぎ、みんな終わった頃にはじゃがいも畑は綺麗になっていました。草を取るという単純作業でしたが、達成感がありとても気持ちのいい作業となりました。これで今日は作業終了。長い間草取りだけでしたが、最後にみんなで木陰に入ってアイスをいただきました。暑さも喉の渇きも一度に癒される感じがたまりません。じゃがいもの隙間にまだ少し草が残っていて気になりますが、次回行われるじゃがいも収穫祭が楽しみです。



自給自足通信 2010 vol.6

こんにちは。自給自足通信です。今回は以前植えたじゃがいもが成長したのでいよいよ収穫します。新しく借りたという畑はじゃがいも専用でかなり広い畑です。その畑で収穫作業をしたのですが、参加者は3名。スタッフさん他を合わせると全部で8人。広大なじゃがいも畑に挑んできました。

じゃがいもは立派に育っていたのですが、雑草もそれ以上に立派に育ってしまっていたので雑草を引き抜きながらの作業になりました。スコップでじゃがいもが掘りやすいように周りの土を掘り起こしていきます。そして掘りやすくなった所を手作業でじゃがいもを掘っていきました。発掘作業のように優しく丁寧にじゃがいもが傷つかないように掘り起こしていきます。雑草と土の中から出てきた芋は大小様々で、綺麗な芋もありましたが、ネズミ、オケラらしきものにかじられてしまった形跡があり、小さな穴があいているものが多かったです。

単純作業ではありますが、この日の天気は晴れ。雲ひとつない炎天下です。立っているだけで汗が流れ落ち、焼けるような暑さです。その条件での作業はとても大変です。立ちくらみしそうな事もあり、みんな休みながらイモ掘りをしていきました。しかし、この広大なじゃがいも畑を全て掘り起こすのは容易ではありませんでした。みんな汗を流しながら作業をしましたが、お昼の時間が来てしまいこの日は終了です。掘り起こしてしばらく地面に置いて乾かしておいたじゃがいもをかごの中に拾い上げていきます。畑の主、田口さんの軽トラックに積み上げていきましたが、全ては積み上げられなく、残りはまた後に回収するそうです。サポステに戻り、傷がないものとあるものを選別し、今回は終了です。回収しきれなかった芋もそうですが、まだ掘り起こせていないじゃがいもも畑の半分は残ってしまったのが気がかりですが、また後日作業するそうです。



参加した方は「暑くて大変だったけど、達成感があった」と言っていました。試食会も予定されていましたが、暑さと疲れで試食会は見送られました。何といても暑さとの戦いで農業の大変さを改めて感じましたが、イモ掘りは楽しく、作業後みんなで分けあったじゃがいもを食べる事も楽しみです。

8月21日。天気は快晴。というより暑すぎます。残暑厳しい炎天下です。今日の自給自足は暑さのせい参加者は2名だけでした。その様な中で行った作業は、ネギの土寄せです。その前に、ネギの畝の間に生えている雑草を除去して行きます。そんなに沢山は生えていませんが、小さい雑草でも放っておくと直ぐに成長して野菜の生長も邪魔してくるので小さいうちに引き抜いていきます。立っているだけで汗が流れる様な天候の中、草かきで地道に草をかいていきます。土地の土の質がさらさらで砂に近いのでかきやすいのですが、後にまたその土で苦労する事になります。それは草をとった後に行った土寄せです。土寄せはネギの根の方に土をかけて、ネギの白い部分を育てていくという方法です。土寄せを始めるのですが、雨が少なく土がさらさらなので一度では寄せ切れません。なので、一度くわで土をねぎの横まで寄せて、もう一度寄せた土をネギの根の方に掛けていきました。2度の繰り返しの作業は大変で汗もどんどん流れていきます。しかし、その作業の後飲んだお茶は正に生き返ります。木陰で休んだ後、残ったとうもろこしと、ごぼうの収穫をしました。

とうもろこしは鳥が突っついてしまった物や、虫にくわれてしまったものがあり、無事だったものを収穫しました。ごぼうはサラダごぼうとう種類らしく、普段見かけるものより細いものでした。しかし匂いはごぼうの独特の良い匂いがして、すこし柔らかいふにやふにやした感じです。その収穫したものをみんなで分けて今回は早めに終了です。暑かったけどやはり農作業で体を動かすと気持ちが良いです。

自給自足通信 2010 vol.7 + 夏祭り参加

9月28日。この日は、いよいよ待ちに待ったバーベキュー大会です。天気も心配されましたが、快晴でした。この日参加した人数はなんと9人です。さすがにこの日は多かったです。バーベキューの前に一仕事。まずは農作業をします。男手が多いので草取りをしたのですがあっという間でした。さらに畝を作って以前種をまいて芽が出た白菜、ブロッコリーの苗を植えていきました。一列に並びみんなで植えたので、作業はすぐに終わりました。流石に9人もいれば直ぐですね。

一つ休憩をはさみ、いよいよバーベキューの開始です…といっても準備からです。男子は火の準備です。バーベキューコンロに新聞、枯れ木を入れて炭に火をつけていきます。簡単には火がつかないので多少苦労しましたが何とか火がつかしました。その間、女子チームが買い物に行き肝心のお肉、飲み物などを買ってきます。ちょうど炭に火がついて良い感じになってきたところでタイミング良く買い物から帰ってきた女子チーム。早速ですが肉を焼き始めます。女性はせっせと野菜を切ったり、肉を切ったりしてくれましたが、男子も普段、料理をしないという人も進んで自ら肉を焼いて皆に分けてくださったり、順番に肉を焼いてみんなで話しながら楽しみました。暑い中でしたが、炭火焼の肉はとても美味しく、特に鶏肉が人気でした。焼き肉の後、焼きそばも作りました。「面倒くさいから、自分は焼いてくれた肉を食べるだけに来た」と豪語していた方も、何故か自分から野菜を焼いて、麺を入れて、みんなに取り分けてくれて良い意味で言っていた事を裏切ってくれました。そんな事があったので自然と会話も弾みます。「暑いね〜」「美味しいね〜」という感じに、初めて会う人達もいましたが、コミュニケーションも難なくお喋りしていました。食材も残ることなく、牛肉、鶏肉、ウインナー、焼きそば、田口農場で収穫した野菜、ピーマン、玉ねぎ、茄子と出ましたが皆でペロリと食べてしまいました。暑い中でしたがみんな汗をかきながら楽しみました。皆さんからも話を聞くと、楽しかった、美味しかったと感想を聞けたのでとても良かったです。



バーベキューの後は、夕方からでしたが『ころぼっくるながの』の夏祭りに8人で参加してきました。まず着いてお茶とお菓子を頂きました。このままゆっくりと…という訳にはいきません。今日はお手伝いに来たのです。数日前にも何人かで飾り付けのお手伝いをしていましたが、今日は売り子や来てくれたお客さんに歌のプレゼントなどをする予定です。言い忘れましたが、ころぼっくるながのはお弁当屋さんです。

お弁当屋さんのお店の中でしたが、ビール、ジュース、ちらし寿司、焼きそば、フランクフルト、唐揚げを販売していました。準備としてまず、子どもたちにプレゼントする風船と水風船を作っていきます。簡単に作れるとおもっていましたが、風船は息を吹き込んでもなかなかふくらまず、水風船も水を入れた後に口をしばるのが一苦労でした。汗をダラダラ流しながら何とか作っていきました。準備をしている間にもお客さんがいらっしゃいました。くじ引きのお手伝いをしましたが、来てくれる子供たちが笑顔でくじを引いてくれました。景品はお弁当、ぬいぐるみ、花火、うまい棒など盛り沢山です。先程作った水風船も子供たちにプレゼントしていきます。照れながら、ありがとうと言ってくれる姿がとても微笑ましかったです。中には直ぐに風船を割ってしまう子もいましたが、それもご愛敬。お弁当屋さんの中にはフリースペースがあり、そこでお客さんが食べたり、話したりしていました。



なんだかんだ忙しくしていると、次はミルキウエイの番です。リーダーの田口さんをはじめ、全部で5人で歌いました。歌った歌は、ミルキウエイテーマソ

グの始発列車と少年時代をフリースペースで歌いました。賑やかな中で歌ったので自然と声も大きくなります。2曲歌って終わったなと思ったら、何と小さな子からアンコールの声。「ビリーブ歌って」と小さな子から言われたら断るわけにもいきません。一緒に歌おうとその子と一緒にビリーブを歌いました。そんな感じで盛り上がったので良かったです。でも、これで終わりではありません。またくじ引きのお手伝い、お客さんとの交流は続きます。夕方からでしたが、まだ暑さは残っていて汗も自然と流れていきます。お客さんも次から次へと沢山来てくれました。ころぼっくる職員のみセスたちも大忙しです。その間にもスイカをごちそうになったり、ビールをいただいたり夏祭り感がでてきます。8人も参加しているのでみんなで話したり、順番にくじの受付をしたり忙しいですけどとても楽しかったです。あっという間に時間も過ぎ、もうお客さんも帰っていきます。後片付けもお手伝いして、解散の時間になりました。少し疲れたけど、この日はバーベキューもあり一日がかりで参加した方も沢山いました。本当にお疲れ様でした。ころぼっくるの人との交流、お客さんとの交流、そして参加したみんなとの交流があり、この日は忙しい日でしたがとても充実した一日になりました。

自給自足通信 2010 vol.8

こんにちは。いつも自給自足通信を書いているサポステ利用者の〇です。

9月25日(土)、今回の天気は朝曇っていたのですが、次第に晴れ、風は少し肌寒いですが秋晴れとでも言うのでしょうか?とても気持ちいい天気になりました。そんな快適な中での作業は、種まきです。参加者は3名でした。まず、以前植えたブロッコリー、白菜の苗がまだ植え終わっていませんでしたので、それから片付けます。

以前植えた苗は成長しているのですが、青虫に葉を食べられてしまっていました。苗1つ丸々食べられてしまった物もあり、残念ですがそれは引き抜き、新しい苗を改めて植えなおしました。そしてもはや逃げる事の出来ない雑草に挑み、草取りをしました。雑草は小さいうちに抜いておかないと駄目なので、どんどん鎌でかいて行きました。同時に葉に付いた青虫も手で一枚一枚葉を確認しながら除去して行きました。

一段落ついたら次はネギの種まきです。畝に木の板で横に溝をつけていき、その溝に等間隔に種を蒔いていきます。綺麗に芽が出るように一定の間隔で蒔きたかったのですが…。蒔いたら上から土をかぶせて終了です。さすがに大勢で行くとあっという間ですね。という会話がありました。

次に大根です。ペットボトルの底を使い丸い穴を開けていきます。3粒づつまき、成長してきたら1本か2本、大きくなりそうなものだけを残すそうです。

今日の作業はこれで終了。少し冷たい風も吹く日でしたが、気温は暖かく、農作業日和でした。体も動かせ、普段運動不足ですが、心地よい疲れと共にとりフレッシュできるので、皆さんも気分転換にどうですか?

10月9日(土)、天気は曇り、小雨もぱらついています。何とか作業できる空模様です。今回は6月に植えたサツマイモ、その収穫です。参加者は5名、男性3人、女性2人でした。

まず、農場の主でもある田口さんが1畝サツマイモ畑のツタを切り払ってくださったので、後は芋を掘るだけです。さっそく芋掘りを開始したのですが…芋が見当たりません。ちょっと太めの根っこが出てくるだけで、芋が出てきません。田口さんが先に試しに掘った時は、比較的大きな芋が採れたらしいのですが、中々芋が見当たりません。別の場所を掘ってみると、小さな芋が出てきました。1つの苗には普通、2~3個以上の芋が付いているらしいのですが、付いていてもせいぜい2個。今年は全くだめかなあと思っていると、別の場所から歓声が。大きな芋が顔を出しました。すると続けて芋が次々と出てきます。大きさはまばらですが、小さな物から大きく立派な物まで、数は少



ないですが出てきました。もう1つ畝があってそちらも掘ってみる事に。今度は皆でツタを鎌で除去していきます。そして掘ってみると、先程の畝とは少し違い、こちらの畝は大きな芋が沢山…でもないですが結構な量が収穫できました。結局、数は予想より少ないですが、それなりの芋が収穫できました。作業時間が短く、早く済んだので、今回は更に大根の土寄せもしました。まだ先日種を蒔いたばかりで、小さな芽が出ているだけです。土を寄せておかないと駄目だそうです。手で寄せて、人数も多いので直ぐ終わりました。今日の農作業はこれで終わりですが、今回は収穫した芋をお弁当屋とレストランに使ってもらうため、届けるという作業もありました。収穫した芋を持って、ころぼっくるながのというお弁当屋さんへ運びました。ころぼっくるにあるフリースペースをお借りして、そこでお弁当を皆で食べて休憩。その後、ころぼっくるの駐車場をお借りしてサツマイモの選定をしました。大きさによって仕分け、大、中、小と分けました。その仕分けた芋で、大きいものを皆でころぼっくるの他にレストランへも届けました。小さな芋はすいとんパーティーの予定です。



今回は、収穫して色々な所に届けるという事でしたが、自分達で作った野菜を色々な人に食べていただけると思うので、喜んでもらえると思います。

自給自足通信 2010 最終号

こんにちは。自給自足通信です。11月13日天気は曇り。しかし、次第に日が射ってきて秋らしいお天気になりました。そして、今回参加して下さったのは男性4名と女性1名の計5名。そこにスタッフさん2名が加わり計7名となりました。

今日の作業内容は大豆の収穫です。以前の自給自足で豆を引き抜いて大豆の木を4~5本縛り、まとめておきました。3~4週間くらいに行ったのですが、その後しばらく天日で干しておいたものが乾燥し、それを木に叩きつけて大豆を取りだしました。イスに腰掛けながらですが、大きなビニールシートを2枚敷き、その上に木を置いて干しておいた大豆を叩きつけます。かなりアナログなやり方だと思いましたが、機械がない場合はこうやってやるそうです。叩きつけると豆の殻が割れ、中の豆が出てきます。

手首のスナップをかかせて、力任せに叩きつけると枝が折れたり、中の豆が割れたりしてしまうので、いい加減で叩きつけます。単純作業ですが、意外と疲れます。休憩しながら今回は約2時間弱豆の収穫をしました。ひたすら叩き続けます。叩きつけます。



その繰り返しでした。今回はそれだけの作業でしたので他に書くことがありません。ご了承下さい。最後に田口さんが別で収穫して下さったネギを皆で分けました。

今回は単純作業の繰り返しでしたが意外に豆が飛び出してくるのは面白く、あっという間に時間は過ぎてしまいました。

11月20日。天気は晴れ。秋晴れとなりました。そして今回で残念ながら自給自足のすすめも今年最後となりました。今回の参加者は2名でした。最初に行った作業は草取りです。最後ですが、作業内容は淡々と行われていきます。ネギを植えた畑の間から、ネギと同じ速度で成長している雑草を引き抜いて行きま

す。栄養分がネギにきちんとまわる様に、そしてネギの成長を邪魔しないように引き抜きました。次に、前回行った大豆の収穫の続きをやりました。シートを敷き、木を置いてそこに干して乾燥させておいた豆の木を叩きつけます。前回は朝露にやられて豆の木が少し湿ってしまったので叩きつけても中々豆が出て来なかったのですが、今回はきちんと乾燥していたので、面白いように豆が飛び出てきました。全ての大豆の木から豆を収穫し、作業は終了です。



今年の自給自足は、春先でも雪が舞い寒い中で作業から始まりました。しかし、夏はとても暑く作物の成長にも影響を与えました。思うように成長しなかったり、去年と比べると収穫できた野菜の量が少なかったりと、改めて自然の厳しさ、農業の大変さを知りました。しかし、汗を流すこと、みんなで協力して何かを作るということ、思いとは違う結果が出ることも色々勉強になりました。自給自足通信も書いていて、振り返ると色々あったなと思います。記録に残すことで、単に作業を行っただけでなく、記憶に残って、また読んだ人に様々な感想を頂いてとても楽しかったです。ありがとうございました。